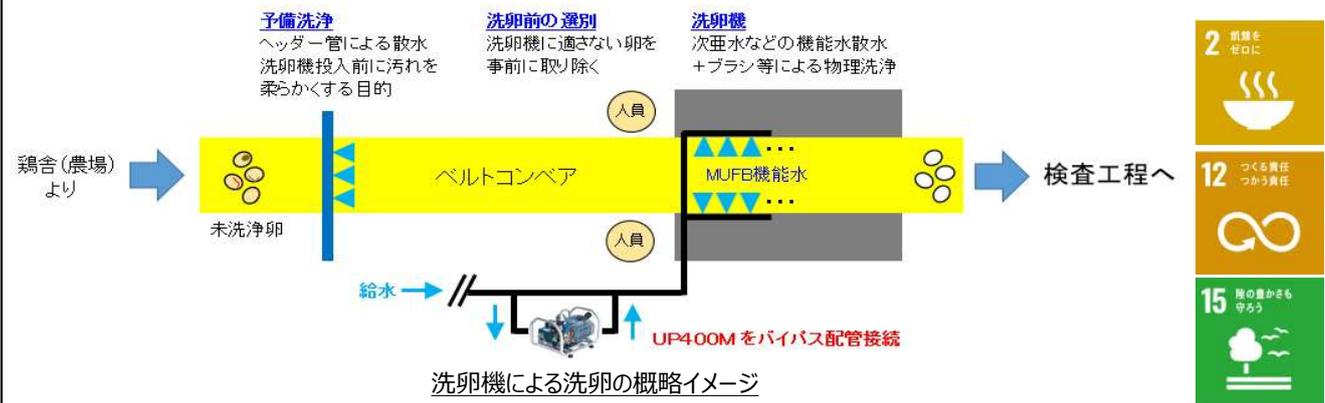


テーマ：ウルトラファインバブル水による洗卵効率の向上



洗卵機による洗卵の概略イメージ

【 社会的な課題 】

世界中で様々な料理に用いられている鶏卵は、国内においては生食もできるほど洗浄や殺菌など衛生管理が徹底されている。しかしながら、パッキング工場に於いて洗浄後も殻の汚れが残ったものは加工品として使用することになり、その販売単価や再洗浄、二次検査に掛かる工数が収益面で課題となる。

【 取組み内容 】

卵を洗う洗卵機の給水管中にウルトラファインバブル発生器を組み込み、洗浄水中にウルトラファインバブルを発生させることで卵の洗浄効率向上を図った。汚卵による再洗浄の割合や廃棄処理数をチェックし、歩留まりの改善効果を確認した。

【 ファインバブルの作用・原理 】

ウルトラファインバブル水の浸透性が従来よりも高くなることから、洗浄水が卵殻と汚れとの間に入り込みやすく、洗浄工程をそのままに洗浄効果を引き上げることができた。

【 使用機器 】

ウルトラファインバブル発生機UP400M。
モータ駆動のウルトラファインバブル発生ポンプ。既設の洗卵機の配管と接続することで水源を確保し、ウルトラファインバブル化した洗浄液を洗卵機へ供給することで洗卵の工程は変わらずにウルトラファインバブルの効果を得ることができる。

【 各種効果 】

- 汚卵による再洗浄率、加工品への転用率の低減
- 再洗浄率の低下による工程、消費水量のコスト削減。
- 生食用としての利用率の向上による収益向上。